

点が取れない学習法の典型

2022.5.27(金)

学力とは点数であり、それ以外の何ものでもない！

「数学ができる」と褒められても、それがテストの点数として現れない限り、何の説得力もありません。

「あ、そうなの？」でおしまいです。

ところが、100点をとりに続けている生徒に対しては、「数学ができますね」などいいません。遠くから畏敬の念をもって見つめ続けるだけです。事実がすべての世界です。

この世界観に、学習方法の源泉があります。

「解けない」を「解ける」にするだけでよい

ある問題を解けない生徒に解き方を教えます。

先生：「わかりましたか？」

生徒：「はい、よくわかりました。」

注意することは、この段階では、この生徒は何もわかっていない、ということです。いや、わかっているのかもしれませんが、わかっているという証明はできていません。

1週間後に同じ問題を解かせます。

解けません。これは特殊な事例ではありません。ごくありふれた事例です。

何もしなければ、ふつうは、7～8割の生徒は解けません。

(通常は、家で解けるように勉強してくるから、実際は7～8割の生徒が解けないわけではないのですが…。)

解けなかった問題というのは、教えてもらっても、1週間後には忘れるものです。

問題解法のプロセスが与えられたものであるからです。

問題解法のプロセスは、自分で構成する力をもたないとその問題は解けるようにならないし、また、他の問題への応用もききません。

こんな勉強方法ではテストで点は取れません

「一生懸命に勉強しているんですけどねえ…」

というお母さんの嘆きから始まります。

まじめて、一生懸命に勉強している女の子のパターンです。

用意している先生の返答もパターンで済んでしまいます。

先生：「どんな勉強をしていますか？たとえば、テスト前の勉強方法ですが…」
ま、聞かなくとも返答はおよその見当はつきますが…。(*^_^*)\
生徒の返答です。

学校のテスト前は、テスト範囲のすべての問題をきちんとやります。

①ノートに問題を解く。

薄いシャープペンで、小さな数字や文字で、ちまちまと書く。

計算は、ノートの隅っこに、虫眼鏡がないと見えないような文字でやる。

計算の答えが出たら消してしまう。

②解答書を見て、答え合わせをする。

できたら赤ペンで大きな○を付ける。

③間違えたら、解答を読んで、間違ったところを赤ペンで直す。

なおしたら赤ペンで大きな○をつけて、ひと安心。

【注】これは、解法プロセスを自分で組み立てたわけではないので、同じ問題を与えられても解けないのが普通です。

④問題集の赤○がどんどん増えていくにしたがって、テスト勉強した～っ！と気分がいい。

*いざ本番！テスト問題を前にして、頭が真白…！

だいたいこのようになります。

コピーで写し取ったような返答が返ってきます。

これでテストで高い点数がとれたら奇跡です。

どうひいき目にみてもこれは勉強ではありません。

単なる作業です。

しかし、この作業の中には、磨けば光るダイヤモンドの原石が入っています。

それをただの石ころにしているのは当の生徒さん自身です。

どういうことか？

具体例が一番分かりやすいので、数専ゼミの学習指導の実際を紹介しましょう。

以下に示すのは、架空の抽象モデルですが、実際は、この数十倍、数百倍のデータベースを作成し、診断的個別指導を行います。

もちろん、これらは数専ゼミの最新鋭高速コンピュータで行います。

日々の学習がテスト対策－数専ゼミのテスト指導

毎日の勉強がテスト対策にしてしまいます。

テスト範囲は1番から9番まで、テストは6月の第1週と設定してみました。

学習したすべての問題について、正誤と学習した日付を書き込みます。

(自力で解けたら○、解けなかったら×をつける。／その後に解いた日付を添付する。)

	正誤と学習した日付			数専ゼミの実物サンプル → Link
	1回目,	2回目,	3回目	テスト前対策
1番	○5 / 1			テスト前日 赤ラインの2題 を繰り返し、 繰り返し練習して覚えます。 時間があれば、3番と8番 を練習します。 1回目で○になった問題は復習 する必要はありません。 このようにすると、短時間のテスト対策で 確実な効果が得られます。 解けない問題だけを解けるにしているの から当然なのですが…。
2番	×5 / 1	×5 / 8	<u>×5 / 15</u>	
3番	×5 / 8	○5 / 15		
4番	○5 / 8			
5番	○5 / 15			
6番	×5 / 15	×5 / 22	<u>×5 / 29</u>	
7番	○5 / 15			
8番	×5 / 22	○5 / 29		
9番	○5 / 22			

日々、高校入試対策

これを日々、学習したすべての問題についてやっているのが数専ゼミの「学力化学習法」です。数百題の問題の正誤と学習日付を管理していますし、必要なときに、必要な単元のデータ（学力診断表）を直ちに出力することができます。

これらは「学力の到達点」を表し、今から何をどのように勉強すればいいのかを示しています。

これらのデータベースは3年の後期からはじまる実力テストや模試、そして入試に絶大な効果を発揮します。

範囲がないテストのテスト対策に使えるからです。

3年生の11月頃に決まって受ける質問があります。

「模試や入試対策に何を勉強したらいいのですか？」

入試間際になって、入試対策だとあわてることなく、

毎日の学習が、高校入試に直結するようにしておくことが、確実に志望校に合格するためには大切なことです。

学校のテストで、いくらいい点をとっても、入試で高い点数がとれなければ志望校には合格できないのですから…

日々の学習を高校入試に直結させる数専ゼミの数学教室です。

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp